



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 アルインコ株式会社

コード番号 5933

URL <https://www.alinco.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 宣夫

問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)川上 義広 (TEL)06-7636-2222

四半期報告書提出予定日 2020年2月3日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有(個人向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年3月21日~2019年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	42,734	5.3	3,093	28.4	3,357	18.0	2,302	32.1
2019年3月期第3四半期	40,601	8.1	2,408	3.0	2,844	2.4	1,743	4.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,467百万円(59.1%) 2019年3月期第3四半期 1,551百万円(△7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBITDA	
	円 銭	円 銭	百万円	%
2020年3月期第3四半期	116 19	—	6,036	11.4
2019年3月期第3四半期	85 58	—	5,418	7.4

(注) EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却額

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	58,213	28,091	46.6	1,369 53
2019年3月期	53,940	26,359	47.4	1,290 61

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 27,154百万円 2019年3月期 25,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18 00	—	19 00	37 00
2020年3月期	—	19 00	—		
2020年3月期(予想)				19 00	38 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年3月21日~2020年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,380	6.5	3,590	22.9	3,770	14.0	2,250	19.0	113 57

(参考) EBITDA 2020年3月期予想: 7,613百万円(10.1%)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	21,039,326株	2019年3月期	21,039,326株
2020年3月期3Q	1,211,416株	2019年3月期	1,228,481株
2020年3月期3Q	19,819,377株	2019年3月期3Q	20,377,486株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 追加情報	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に景気は緩やかな拡大が続いているとされる一方、消費増税による個人消費の変動や米中間の通商政策の動向が輸出や生産に影響をおよぼす等、景気の実体と先行きは見通しにくい状況が続いています。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピック関連の建設工事が順次完了しつつあり、今後は首都圏並びに主要都市における再開発案件や、社会インフラの改修・整備等の建設需要が引き続き堅調に推移する見通しです。

このような状況のなか、売上高は前年同期比5.3%増の427億34百万円となりました。利益面では、売上高の増加によって、営業利益は前年同期比28.4%増の30億93百万円、経常利益は前年同期比18.0%増の33億57百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の計上によって前年同期比32.1%増の23億2百万円となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

セグメントの名称	売上高		セグメント利益又は損失(△)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
建設機材関連事業	15,262	6.6	1,975	11.3
レンタル関連事業	13,332	0.9	755	67.4
住宅機器関連事業	11,600	9.3	389	△8.5
電子機器関連事業	2,539	3.8	△18	—
報告セグメント計	42,734	5.3	3,102	19.5
調整額	—	—	255	—
四半期連結損益計算書計上額	42,734	5.3	3,357	18.0

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資損失、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

建設機材関連事業

当事業の売上高は、前年同期比6.6%増の152億62百万円となりました。建設用仮設機材の販売が新型足場「アルバトロス」や高速道路補修工事向けの「SKパネル」を中心に広範なジャンルにわたり高水準で推移しました。また、子会社の双福鋼器株式会社においても物流倉庫向けラックの販売が好調でした。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント利益は前年同期比11.3%増の19億75百万円となりました。

レンタル関連事業

当事業の売上高は、前年同期比0.9%増の133億32百万円となりました。低層向けレンタルにおいてここ数年注力してきた非住宅分野での売上高が拡大するとともに、中高層用レンタルにおいては新型足場「アルバトロス」を中心に期初から高稼働が継続しました。

損益面では、レンタル資産の稼働率が期初から好調に推移したことなどから、セグメント利益は前年同期比67.4%増の7億55百万円となりました。

住宅機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比9.3%増の116億円となりました。子会社化した昭和ブリッジ販売㈱の売上高が業績に寄与したほか、アルミ製脚立の新製品「GAUDI」の販売が機械工具ルートにおいて堅調に推移し、売上高が増加しました。また、フィットネス機器については、マッサージ関連の新商品が量販店や家電販売店を中心に好調であったほか、ジョギングマシンやバイクも通販やネット販売で好調に推移しました。

損益面では、為替差益が減少したため、セグメント利益は前年同期比8.5%減の3億89百万円となりました。

電子機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比3.8%増の25億39百万円となりました。情報通信分野に向けた取り組みを進めている無線モジュールの拡販が進みました。なお、当期に繰り延べとなっていた防災行政無線は、導入自治体の発注スケジュールが確定し納入に向けた準備が進んでおります。

損益面では、売上高の増加によって、セグメント損失は前年同期比36百万円改善して18百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は582億13百万円となり、前期末に比べ42億73百万円増加しました。総資産の内訳は、流動資産が353億15百万円（前期末比41億78百万円増）、固定資産が228億97百万円（前期末比95百万円増）であります。総資産の主な増加要因は、売上高が好調に推移した結果、受取手形及び売掛金が増加したほか、需要期に備えてたな卸資産が増加したためであります。

負債は、301億22百万円となり、前期末に比べ25億41百万円増加しました。その内訳は、流動負債が185億31百万円（前期末比24億8百万円増）、固定負債が115億90百万円（前期末比1億33百万円増）であります。負債の主な増加要因は、生産高が高水準で推移したことによる支払手形及び買掛金の増加と、運転資金需要にともなう借入金の増加であります。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が23億2百万円となったことや、剰余金の配当を7億53百万円実施したことなどにより、280億91百万円（前期末比17億32百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、2019年10月4日の「2020年3月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,379,347	5,385,571
受取手形及び売掛金	15,848,616	17,402,549
商品及び製品	7,027,023	8,358,409
仕掛品	1,062,049	1,132,218
原材料	2,047,987	2,190,895
その他	788,512	862,266
貸倒引当金	△15,727	△16,006
流動資産合計	31,137,809	35,315,903
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産	24,674,029	25,839,744
減価償却累計額	△19,940,274	△21,051,592
減損損失累計額	△112,774	△117,998
レンタル資産(純額)	4,620,980	4,670,152
建物及び構築物	10,932,055	11,016,641
減価償却累計額	△6,829,489	△7,106,369
建物及び構築物(純額)	4,102,566	3,910,271
機械装置及び運搬具	4,773,642	4,918,682
減価償却累計額	△3,478,591	△3,661,509
機械装置及び運搬具(純額)	1,295,051	1,257,173
土地	4,852,800	4,863,857
その他	3,458,614	3,531,272
減価償却累計額	△3,109,692	△3,136,994
減損損失累計額	△27,825	△27,825
その他(純額)	321,097	366,453
有形固定資産合計	15,192,495	15,067,907
無形固定資産		
のれん	1,208,357	1,004,958
その他	174,028	185,534
無形固定資産合計	1,382,386	1,190,493
投資その他の資産		
投資有価証券	2,164,737	2,174,072
長期貸付金	824,127	1,202,112
退職給付に係る資産	2,076,566	2,115,936
繰延税金資産	185,142	160,769
その他	980,082	993,473
貸倒引当金	△3,150	△6,868
投資その他の資産合計	6,227,506	6,639,495
固定資産合計	22,802,387	22,897,896
資産合計	53,940,197	58,213,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,225,439	9,364,651
短期借入金	554,150	1,808,300
1年内返済予定の長期借入金	4,435,642	4,576,392
未払法人税等	757,785	601,367
賞与引当金	684,794	429,776
その他	1,465,427	1,750,865
流動負債合計	16,123,240	18,531,353
固定負債		
長期借入金	10,238,526	10,260,482
退職給付に係る負債	200,810	186,958
役員退職慰労引当金	186,336	186,336
繰延税金負債	438,483	595,960
その他	393,378	361,120
固定負債合計	11,457,535	11,590,858
負債合計	27,580,775	30,122,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,361,596	6,361,596
資本剰余金	4,812,424	4,817,366
利益剰余金	14,704,990	16,254,663
自己株式	△909,615	△896,979
株主資本合計	24,969,396	26,536,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328,887	368,762
繰延ヘッジ損益	13,078	55,741
為替換算調整勘定	214,786	188,904
退職給付に係る調整累計額	41,871	4,930
その他の包括利益累計額合計	598,623	618,339
非支配株主持分	791,401	936,601
純資産合計	26,359,422	28,091,588
負債純資産合計	53,940,197	58,213,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年12月20日)
売上高	40,601,403	42,734,514
売上原価	29,511,535	30,607,403
売上総利益	11,089,868	12,127,111
販売費及び一般管理費	8,681,517	9,033,595
営業利益	2,408,350	3,093,515
営業外収益		
受取利息	19,247	29,231
受取配当金	87,334	87,459
受取地代家賃	45,218	43,383
為替差益	189,136	26,792
作業屑等売却益	117,405	81,250
その他	78,986	72,801
営業外収益合計	537,328	340,918
営業外費用		
支払利息	37,275	38,518
支払地代家賃	18,345	18,345
持分法による投資損失	29,994	2,999
その他	15,717	17,088
営業外費用合計	101,332	76,952
経常利益	2,844,346	3,357,481
特別利益		
有形固定資産売却益	2,969	2,634
投資有価証券売却益	960	392,875
特別利益合計	3,929	395,509
特別損失		
有形固定資産除売却損	4,640	7,213
投資有価証券評価損	36,043	-
災害による損失	19,027	-
特別損失合計	59,711	7,213
税金等調整前四半期純利益	2,788,564	3,745,778
法人税、住民税及び事業税	844,337	1,125,278
法人税等調整額	120,693	165,332
法人税等合計	965,031	1,290,610
四半期純利益	1,823,533	2,455,167
非支配株主に帰属する四半期純利益	79,699	152,357
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,743,834	2,302,809

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)
四半期純利益	1,823,533	2,455,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△253,774	39,875
繰延ヘッジ損益	130,237	42,663
為替換算調整勘定	△111,495	△33,039
退職給付に係る調整額	△52,278	△36,941
持分法適用会社に対する持分相当額	14,965	-
その他の包括利益合計	△272,344	12,558
四半期包括利益	1,551,188	2,467,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,474,761	2,322,525
非支配株主に係る四半期包括利益	76,427	145,200

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,318,481	13,218,980	10,617,021	2,446,919	40,601,403	—	40,601,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,398,802	7,092	263,186	20,821	2,689,902	△2,689,902	—
計	16,717,283	13,226,073	10,880,208	2,467,740	43,291,306	△2,689,902	40,601,403
セグメント利益又は損失(△)	1,774,921	450,964	425,981	△54,956	2,596,910	247,436	2,844,346

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額247,436千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資損失、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

住宅機器関連事業セグメントにおいて、2018年7月2日付で昭和ブリッジ販売(株)の全株式を取得し、当第3四半期連結会計期間に連結子会社といたしました。なお、当該事象による、のれんの増加額は当第3四半期連結累計期間において592,670千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,262,229	13,332,032	11,600,989	2,539,262	42,734,514	—	42,734,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,087,404	2,611	113,668	20,457	2,224,142	△2,224,142	—
計	17,349,633	13,334,644	11,714,658	2,559,720	44,958,657	△2,224,142	42,734,514
セグメント利益又は損失(△)	1,975,791	755,024	389,668	△18,065	3,102,419	255,061	3,357,481

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額255,061千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない持分法による投資損失、為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。